

## 平成22年度第3回北九州市立図書館協議会 会議録

### 1 会議名

平成22年度第3回北九州市立図書館協議会

### 2 議題

- (1) 北九州市生涯学習推進計画(素案)(概要)について
- (2) 北九州市子ども読書プラン(素案)(概要)について
- (3) その他

### 3 開催日時

平成23年1月28日(金)

14時00分～15時00分

### 4 開催場所

北九州市立中央図書館内 視聴覚センター第2会議室

### 5 出席者氏名

#### (1) 委員(会長他13名、欠席委員4名)

北九州市立大学学術情報センター長	田村 慶子
北九州市学校図書館協議会会長	吉田 幸雄
北九州市学校図書館協議会副会長	勝山 謙之
九州国際大学	加藤 和英
福岡県立八幡高等学校校長	藤野 重雄
北九州市私立幼稚園連盟副会長	中田 俊澄
北九州市PTA協議会書記	中口 久美子
BUC H北九州 絵本とおはなしの会副代表	高井 眞紀子
北九州市社会教育委員	服部 多恵子
北九州市保育所連盟副会長	北野 久美
成人読書会「四季」会長	高畠 登美子
北九州青年会議所総務室室長	東原 文久
日本放送協会北九州放送局主管	大坪 和弘

#### (2) 事務局(山口中央図書館長他11名)

中央図書館館長	山口 保夫
---------	-------

中央図書館副館長	坂本 敏彦
中央図書館庶務課長	紫垣 教幸
中央図書館奉仕課長	小石原 善徳
中央図書館庶務課庶務係長	河野 吉彦
中央図書館庶務課資料係長	久保 博孝
中央図書館奉仕課奉仕係長	岡本 博昭
中央図書館庶務課庶務係	山本 清貴
教育委員会生涯学習課長	加藤 賢次
教育委員会生涯学習課管理係長	堤 晴幸
教育委員会生涯学習課図書館建設担当係長	徳間 博郎
教育委員会生涯学習課生涯学習係長	櫻江 裕美

## 6 傍聴者

なし

## 7 会議次第

- ( 1 ) 中央図書館長挨拶
- ( 2 ) 委員紹介
- ( 3 ) 事務局職員紹介
- ( 2 ) 議事 ( 報告、質疑応答 )

## 8 会議経過 ( 発言内容要旨 )

- ( 1 ) 北九州市生涯学習推進計画 ( 素案 ) ( 概要案 ) について

資料『北九州市生涯学習推進計画 ( 素案 ) ( 概要案 )』に基づき、  
 計画策定にあたって  
 生涯学習の現状  
 生涯学習の課題  
 生涯学習のこれからの方向  
 施策の方向と重点取組み  
 具体的な取組み  
 を説明。

( 委員 )

生涯学習の認知度が、平成 1 0 年度の 7 4 . 1 % から平成 2 1 年度は 5 5 .

9%に減っていますが、何か要因があるのですか。

(事務局)

生涯学習活動は活発に行われているのが実態だと思いますが、多くの方は自分の活動が生涯学習活動かどうか分からないため認知度が減ってきたのではないかと考えています。

また、以前は社会教育という枠組みで公民館活動が行われていましたが、内容に少し乖離が出てきたからではないかと思っています。

生涯学習の意義や必要性をもう一度喚起する必要があると思います。

また、生涯学習活動をしない理由の一つとして、何をすればいいのか分からないという人が増える傾向にあるため、事務局としては、こうした方々に情報を提供したいと思っています。

(2) 北九州市子ども読書プラン(素案)(概要案)について

資料『北九州市子ども読書プラン(素案)(概要案)』に基づき、

計画の策定にあたって

本市の子どもの読書活動の状況

本市のこれまでの取組み

本市の子どもの読書活動の課題

これからの子ども読書活動推進計画

具体的施策及び主な事業

について説明。

(委員)

子どもが読書をしない割合や図書館に行かない割合は分かりましたが、大人に対しての調査は行ったのですか。

(事務局)

平成21年3月に本協議会で答申をいただいた「これからの図書館のあり方」の検討の中で、調査を行いました。

その中で、「本を読まない、図書館に行かない理由」は、一般の方の約37%が「時間がない、暇がない」と答えており、次に多いのが「本を購入するので図書館に行かない」でした。小・中・高校生では「時間がない」が6割を超えていました。

(委員)

図書館で調べものをするとき、パソコンの検索機能みたいなもの、キーワード検索とかができれば調べやすいのですが、そうことを検討されていますか。

(事務局)

商用データベースというのが多数販売されており、中央図書館では1本導入しています。

データベースを活用したレファレンスも進んでいくと思われるので、中央図書館としても商用データベースの本数を増やすよう検討を進めています。

(委員)

学校図書館に司書の配置を推進していく方向とのことですが、今の状況はどうなっていますか。また、今後5年間でどのようなようになりますか。

また、学校図書館嘱託職員の配置充実と学校図書館の常時開館促進とはどのようなものですか。

(事務局)

司書教諭の配置については学校図書館法に定められており、12学級以上の学校については必ず配置することになっています。11学級以下の学校は現在84.5%で、今後できる限り100%に近づけていきたいと考えています。

学校図書館の司書については嘱託職員を配置しており、現在、中学校7校に配置し、今後できる限り増やしていきたいと考えています。

また、ブックヘルパーを配置するなど、地域の協力も得る仕組みを今年度始めたところです。学校図書館の常時開館についても、着実に進めていきたいと考えています。

(委員)

司書教諭は担任を持っており、学校図書館まで手が回りにくいため、学校図書館への職員配置を充実していただきたいと思います。

それと、学校図書館はかなり暑いので、できることからクーラーの設置をお願いしたいと思います。

(委員)

北九州市は本好きの子どもが多いのですが、読書量は全国に比べると低く、

図書館の利用も低いと思います。学校図書館が充実している政令指定都市では、学校図書館にエアコンが完備されているとか、司書の資格を持った方がいらっしゃるとか、本市が学べるところもあるのではないのでしょうか。

(事務局)

読書活動が活発な自治体は、学校で10分間読書を頻繁に行ったり、学校図書館司書を配置したりしていますが、本市の場合、中学校では3.2%しか常時開館していないなど、環境が整っていないのが現状です。

事務局としては、学校図書館の常時開館や10分間読書の増加などを重点施策に学校で本を手にとれる環境を整えて、指導もしていただくというのをメインに挙げさせていただきました。

一方で、家庭においても月に一回程度は家族と一緒に本を読みましようという運動をPTAと一緒に進めるため、「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」といった取組みについても検討していきたいと考えています。